

金融AI モダナイゼーション支援サービス

～ AI・API・マイクロサービスによる次世代金融システムへの進化 ～

LEGACY SYSTEM TO OPEN INNOVATION
AI × API × CLOUD × FINANCIAL DX

うえじま企画 会社概要

社名	株式会社うえじま企画
URL	https://uejimagroup.com/
資本金	1億円(グループ資本金・3億5千万円)
所在地	〒114-0013 東京都北区東田端1丁目13-10
設立	平成7年10月17日
代表者	代表取締役社長 上嶋茂 (うえじま しげる)
売上/従業員数	30億円(グループ会社含む)/250名
決算	3月
取引銀行	三井住友銀行 上野支店
顧問弁護士	櫻井法律事務所
グループ会社	別スライドにてご紹介
関連会社	賀茂米穀卸株式会社
関連団体	一般社団法人グローバル・ベンチャー協会

拠点紹介

■本社

〒413-0411

静岡県賀茂郡東伊豆町稲取1492-1

Tell : 0120-819-914

■東京営業所

〒114-0013 東京都北区東田端1-13-10

ツインビル田端A棟7F

Tell : 03-5692-5030

■横浜営業所

〒231-0032

神奈川県横浜市中区不老町1-1-5 横浜東芝ビル3F

■大阪営業所

〒540-0034

大阪府大阪市中央区島町2-1-15 ITビル3B

■仙台営業所

〒980-0021

宮城県仙台市青葉区中央2-2-10

■札幌営業所

〒060-0808

札幌市北区北八条西4-22-1

グループ会社・各社サービス

株式会社うえじま企画



■事業
ITプロフェッショナル事業

■事業内容
企業経営のコンサルから情報システムの企画、設計、開発、保守運用、人材育成研修まで、一括した、サービスを提供致しております。

株式会社UKnet



■事業
ITインキュベーション事業

■事業内容
EDI およびEUC、金融、産業システムの企画、開発、保守運用まで一括した、サービスをご提供致しております。
クラウドファンドや不動産事業を展開。

(株)オープン・システム・ソリューションズ



■事業
ITソリューション事業

■事業内容
クラウド活用支援およびITインフラ基盤の構築、開発、保守運用まで一括したソリューション・サービスをご提供致しております。

株式会社うえじまインベストメント



■事業
ITインベストメント事業

■事業内容
FintecやAI投資システムのコンサル、開発、保守運用まで一括したサービスをご提供致しております。[事業承継](#)や[M&A](#)の支援。

株式会社地方総合研究所



■事業
ITマーケティング事業

■事業内容
商品コンセプトの構築から、ITを活用したマーケティング支援や広告作成および各種販売ツールをご提供し、地方企業の活性化支援を致しております。おためし屋運営。

株式会社UK信託

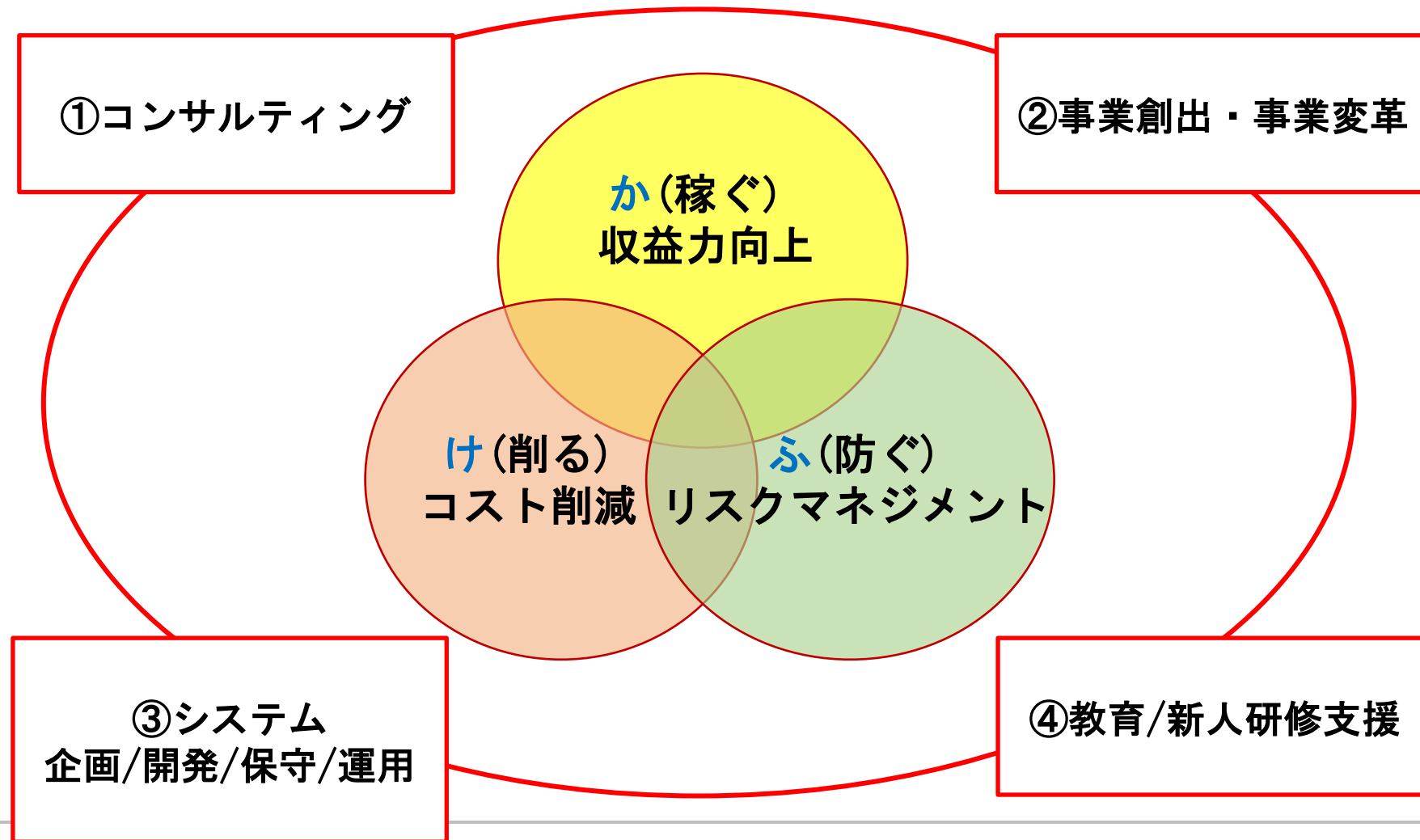


■事業
信託事業

■事業内容
企業の持続的な成長を支援する「事業信託」を営業致しております。[信託業務](#)を通じて、よりよい社会の実現に貢献致しております。

I T 部門価値向上支援サービス (MIRAI) 概要

I T 部門価値向上支援サービスは、企業の「**かけふ**」を推進するため、DXを活用した各種支援サービスを営業致しております。



金融システムは「維持する時代」から「進化させる時代」へ

FINANCIAL AI MODERNIZATION

MAINTENANCE ERA

現在の金融業界の課題

 COBOL技術者の高齢化

 メインフレーム保守費増加

 ブラックボックス化

 AI導入困難

 DX人材不足

 法制度対応の増加

EVOLUTION ERA

2030年以降の要求水準

 AI前提システム

 クラウドネイティブ

 マイクロサービス（API）連携

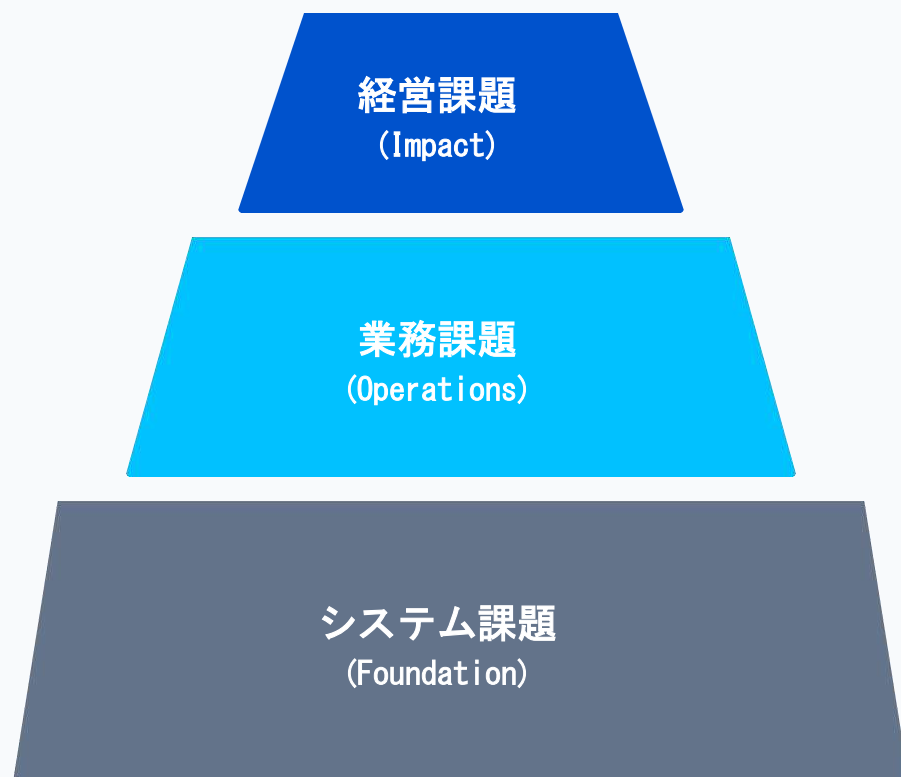
 リアルタイム処理

 AIエージェント

 このままでは競争力維持が困難

現場では、このような課題が発生しています

FINANCIAL AI MODERNIZATION



経営課題

- 保守費の継続的な増加
- 最新AI技術を導入できない
- 改修に伴う巨大なリスク

業務課題

- 複雑なExcelによる管理
- データの二重入力の常態化
- 大量に残る紙帳票の処理
- 特定担当者への業務属人化

システム課題

- COBOL
- 古いJava環境
- PL/I
- ブラックボックス化
- VB / Access

課題が積み重なり、ビジネスの進化を阻害する構造的な要因となっています

なぜモダナイゼーションが必要なのか

FINANCIAL AI MODERNIZATION

⚠ 課題の連鎖（負の連鎖）



レガシーシステム
COBOL等の老朽化した既存資産



維持管理費の増大
保守運用の硬直化とコスト負担



DX人材の不足
技術継承の断絶とブラックボックス化



市場競争力の低下
ビジネス要件への迅速な対応が困難



AI導入が困難
データの分断により最新技術を拒絶

モダナイゼーション

✓ 解決後の姿（理想の姿）



Open系基盤
ベンダーロックインからの脱却



API連携
外部サービスとの柔軟な接続性



AI・高度分析
データを活用した意思決定の高度化



クラウドネイティブ
スケーラビリティとコスト最適化



金融DXの実現
持続的なイノベーション創出基盤

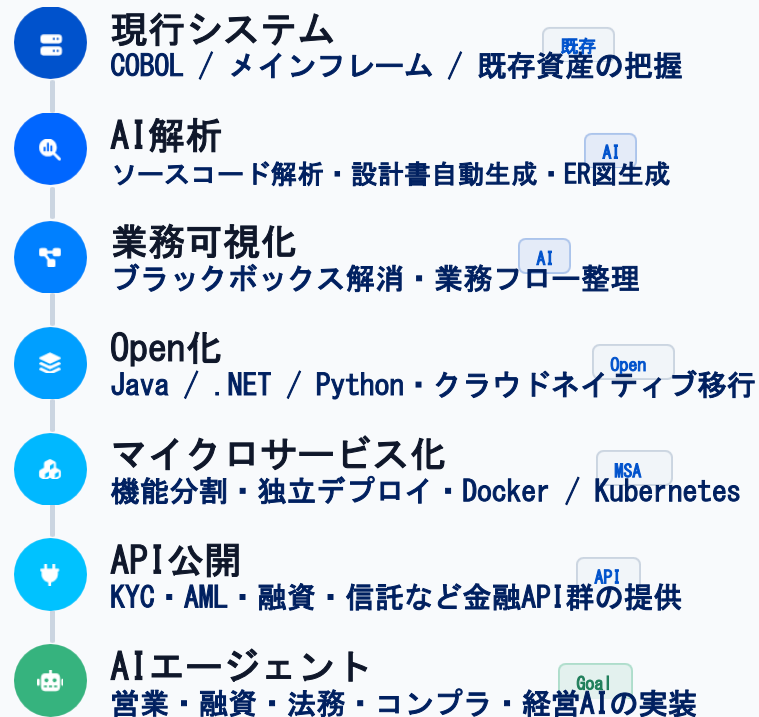
UEJIMA PROPOSAL

AI-First Modernization

単なるシステム更改ではなく、
AIを中核に据えた
次世代金融システムへの進化

AI × API × Cloud

全体プロセス - 7 STEPS



❗ このプロセスが UEJIMAの提案の中心 です。単なるシステム更改ではなく、AIファースト で進めることが最大の特徴です。

サービス全体像

FINANCIAL AI MODERNIZATION

モダナイゼーション・フェーズ

主な成果物



AIによるレガシー解析

FINANCIAL AI MODERNIZATION

AIが自動実施する解析・生成プロセス



ソースコード解析

COBOL等の難解なロジックをAIが読み解き、構造を可視化。



設計書自動生成

現行プログラムから、不足している基本・詳細設計書を再構築。



ER図生成

データ構造を解析し、正規化された最新のER図を自動描画。



API候補抽出

外部連携やマイクロサービス化に適した機能単位を自動特定。



テストケース生成

解析結果に基づき、移行時に必要な網羅的なテスト項目を作成。



ドキュメント生成

運用・保守に必要な最新の技術ドキュメント一式を自動生成。



解析フローイメージ



ソースコード

COBOL / VB / Java



AI解析エンジン

UEJIMA独自モデル



設計書・各種成果物

ドキュメントの再整備

Open系への移行

FINANCIAL AI MODERNIZATION

☰ 現状（レガシー環境）

INFRASTRUCTURE

メインフレーム

LANGUAGES

COBOL

PL/I

OLD SYSTEMS

Visual Basic MS Access



🚀 移行後（オープン・クラウド環境）

MODERN STACK

Java / Spring Boot

.NET

Python

CLOUD NATIVE

 Docker

Kubernetes

PUBLIC CLOUD

 Azure

 AWS

🛡️ 段階移行によりリスクを最小化

現行並行稼働



段階切替え



完全移行

マイクロサービス化

FINANCIAL AI MODERNIZATION



巨大モノリシック
システム
密結合・複雑化
変更リスク大

機能分割

疎結合化



顧客API



契約API



融資API



AML API



KYC API



反社API



信託API



決済API

API単位での 独立提供と進化

- ✓ 独立提供が可能
必要な機能のみを外部パートナーや他サービスへ迅速に連携。
- ✓ 個別アップデート
システム全体を止めることなく、特定の機能のみを改修・拡張。
- ✓ 障害の局所化
一部のサービスに不具合が発生しても、システム全体への波及を防止。

金融APIサービス

FINANCIAL AI MODERNIZATION

API名	機能概要
 KYC API	オンライン本人確認・eKYC、身分証OCR、顔認証照合
 AML API	マネーロンダリングチェック、疑わしい取引の自動検知・スクリーニング
 反社API	反社会的勢力データベース照会、属性判断支援
 融資API	自動審査支援、クレジットスコアリング、財務データ解析
 契約API	電子署名連携、契約書ライフサイクル管理、ドキュメント自動保管
 信託API	信託財産管理、受益権原簿管理、配当計算・送金指示
 相続API	相続手続きフロー支援、遺産分割協議書作成補助、法定相続人確認
 企業価値担保権API	事業価値・無形資産の評価モニタリング、担保権設定・管理基盤

AIエージェント活用

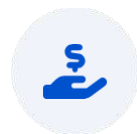
FINANCIAL AI MODERNIZATION

各業務部門の専門知識を学習したAIエージェントが、定型・非定型業務を高度に自動化します。



営業AI

- ✓ 提案書の自動作成
- ✓ 顧客ニーズの抽出・分析



融資AI

- ✓ 稟議書の自動作成
- ✓ 審査スコアリング支援



法務AI

- ✓ 契約レビューの自動化
- ✓ 法的リスクの早期検出



コンプラAI

- ✓ AML・反社チェック
- ✓ 取引モニタリングの高度化



経営AI

- ✓ 経営レポートの自動生成
- ✓ KPIのリアルタイム可視化

期待効果

ドキュメント作成時間を最大70%削減し、専門性の高い判断業務に注力できる環境を構築します。

導入イメージ（ロードマップ）

FINANCIAL AI MODERNIZATION

フェーズ	内容・主要タスク	目安期間
 ① AI現状診断	現行システムの資産棚卸し、AI適用領域の特定、モダナイゼーション方針の策定（アセスメント）	～3か月
 ② PoC（概念検証）	特定の小規模スコープでのAI解析・コード変換の検証、実行可能性の技術的評価	～6か月
 ③ API導入	API共通基盤の構築、レガシー資産のAPIラッピング、マイクロサービスへの段階的切り出し	～1年
 ④ AI導入	業務特化型AIエージェントの実装、各部門への展開、既存システムとの連携最適化	1年～
 ⑤ 運用	安定稼働モニタリング、インフラ保守、セキュリティ運用、AI精度の維持管理	継続
 ⑥ 継続改善	ユーザーフィードバックに基づく機能拡張、最新AIモデルへの更新、システム全体の最適化	継続

※期間はシステムの規模や複雑性により変動します。標準的な中規模金融機関を想定した目安です。

導入事例（イメージ）

FINANCIAL AI MODERNIZATION



地方銀行

AIエージェント

融資AI

審査業務の自動化・高度化を実現し、回答スピードを大幅に改善します。



信託会社

AIエージェント

相続AI

複雑な相続手続きをAIがナビゲート。遺産分割協議書作成などを支援します。



保険会社

API基盤

契約管理API

レガシーな契約管理をマイクロサービス化。柔軟な商品開発と連携を可能にします。



証券会社

コンプライアンス

AMLモニタリング

AIによる取引モニタリングで、疑わしい取引の検知精度向上と誤検知削減を両立。



貸金業

APIサービス

反社チェックAPI

最新のデータベースとAI解析をAPI経由で提供。審査フローの完全自動化を支援。



ファンド

業務基盤

投資家管理API

複雑な受益権管理や報告書作成をAPI化。運用業務の透明性と効率性を向上させます。

UEJIMAだから出来ること

FINANCIAL AI MODERNIZATION

1

金融実務への深い造詣

UEJIMAの強み

信託・貸金・第二種金商等の高度な専門知識。業務プロセスを熟知した上でのDX設計が可能です。

一般的なSIER

金融知識が限定的、またはSES中心の体制で、業務変革を伴う提案が困難。

2

AI実装力とコンサルティング

UEJIMAの強み

単なるPoCで終わらせない、実業務へのAI実装。エージェント活用による業務自動化を伴走型で支援。

一般的なSIER

AI活用が限定的。ツール導入のみに留まり、業務フローの再定義がなされない。

3

API・マイクロサービス基盤の設計

UEJIMAの強み

APIファーストでのシステム再構築。マイクロサービス化により、将来の拡張性と柔軟性を担保します。

一般的なSIER

モノリシックな既存開発手法に固執。外部連携や迅速な機能追加に課題がある。

差別化の核心：金融業務知識 × AI技術 × API設計の三位一体

唯一無二のパートナー

ロードマップ

FINANCIAL AI MODERNIZATION



ULTIMATE GOAL

将来：金融AI Platform

AIが中核となり、APIを通じてあらゆる金融サービスが柔軟に連携・進化し続けるエコシステムの実現を目指します。

金融システムは「AIを活用する基盤」へ

FINANCIAL AI MODERNIZATION

金融AI Platform

 AI融資

 AI相続

 AI信託

 AML

 KYC

 反社

 契約

 企業価値担保権

 営業AI

 API Marketplace

 AIエージェント

UEJIMAが目指す姿：金融業務をAIで進化させるパートナー

単なるシステム更改に留まらず、AIによる開発・保守の高度化、APIによるサービスの再利用、マイクロサービスによる柔軟な拡張、そして業務特化型AIエージェントの実装までを一貫して支援。金融機関の持続的なDXを実現します。

レガシーのOpen化

メインフレームからの脱却とクラウドネイティブ環境への移行。

開発・保守の高度化

AI解析によるブラックボックス解消と自動ドキュメント生成。

サービス再利用性

APIとマイクロサービスによる、俊敏で柔軟な機能拡張の実現。

業務特化AIの実装

金融専門知識を学習したAIエージェントによる業務の自動化。

経営ビジョン(GOAL) :

お客様貢献度NO1の世界に通用するブランド企業を目指します。

■経営理念「ステークホルダ主義(非上場) v s 株主主義(上場)」

「ITで人を幸せにする会社」の実現



顧客に対して

ITを活用した高付加価値サービスをご提供し、お客様貢献度 NO.1 のサービス企業の実現を追及します。



従業員に対して

個人を尊重し、ビジネスパーソンとしての活力と能力を育成し、従業員の幸福を追及します。



社会に対して

ITを活用した高付加価値サービスを追及し、社会から愛され信頼される会社を目指します。



株主に対して

常に健全経営を行い、継続的な安定的な利益還元を実施します。